

年 組 名前：

# しょうゆ店女将 エッセー集

韮崎の老舗家族の思い出つづる

## 12編収載フリマに出展



韮崎市本町2丁目の老舗・井筒屋醤油の女将山寺直美さん（66）は家族との思い出や日々の生活をつづったエッセー集「今日もごきげん」と「たばたエッセイ 何かの足しに」(協立コミュニケーションズ)を出版した。総合同人誌「中央線」の発行人を務めた義父、故・山寺仁太郎さんとの思い出や、実母との思い出などを中心に12編を収載。「ちょっと落ち込むことがあった時に読んで、元気になつてもらえたらうれしい」と話している。

〈木場菜摘〉

山寺さんは、小学生の頃に書き始めた日記をきっかけに、長サイト「note」にもエッセーを載せている。しょうゆ店を営む傍らで創作活動が続け、仁

太郎さんに中央線への寄稿を勧められたこともあったという。

自身は5年後に実父が亡くなった年齢の71歳になることから、「あと5年でいつかやりたい」と思っていたことを実現したいとエッセー集の出版を決め、これまで書いてきたエッセーから12編を選んだ。仁太郎さんの思い出をつづった8部からなる「義父山寺仁太郎」や、日常の聞き間違いをテーマにした「欠伸して下さい」などを載せている。

エッセー集は昨年11月に東京都で行われた「文学フリマ東京41」に出展し、お披露目した。山寺さんは「エッセーは半徑15分で完結するちょっとした出来事をテーマにしている。共感してもらえたらうれしい」と話している。

エッセー集はA5判112ページ。井筒屋醤油店頭や電子商取引(EC)サイトで購入できる。問い合わせは井筒屋醤油、電話0551(22)2225。

~~~~~

エッセー集を出版した山寺直美さん  
—— 韮崎市本町2丁目

(2026年1月7日付 山梨日日新聞 15面)

問1 韮崎市の醤油店の女将山寺直美さんが出版したエッセー集の題名とテーマを教えてください。

・題名：.....

・テーマ：.....

問2 山寺さんは、どんな時に読んでもらいたいと考えていますか。

.....

問3 「欠伸して下さい」には、なにが書かれていますか。

.....

問4 あなたなら、なにをテーマにエッセーや詩を書いてみたいですか。

.....

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します

Copyright © 2026 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.